



国内唯一の「WMO百年観測所」

認定プレート除幕式



世界気象機関（WMO）から交付された認定証

世界気象機関（WMO）が定めた百年観測所選定における必須基準

- (1) 少なくとも1要素は100年以上前から現在まで観測していること
- (2) 戦争・争乱や自然災害の期間を除き、観測していない期間は、最近100年間のうち10%を超えないこと
- (3) 過去も含め、最低限の観測所情報が存在すること
- (4) 気候的特徴に影響する移転はないこと
- (5) 過去の観測データと観測所情報はすべて保存されていること
- (6) WMOの観測基準に従って観測所を運営していること
- (7) CIMOガイド（WMO-No. 8）の定義に従って観測環境を分類すること。さらに、分類の結果を登録時や将来の再登録時に提出すること
- (8) 現行のWMOの実行指針に従ってルーチ的にデータの品質管理を行っていること。さらに、品質管理の方法や結果は適切に記録されていること
- (9) 上記の基準に従って観測所を維持するよう最善を尽くしていること

石垣島地方気象台の業務

1. 天気予報
 - ・今日、明日、明後日、週間、地方天気分布、地域時系列
2. 気象警報・情報等
 - ・特別警報：大雨、暴風、波浪、高潮
 - ・警報：大雨、洪水、暴風、波浪、高潮
 - ・注意報：大雨、洪水、強風、波浪、高潮、雷、濃霧、乾燥、低温、霜
 - ・情報：台風情報、〇〇に関する気象情報（〇〇は対象となる気象現象）、記録の短時間大雨情報、土砂災害警戒情報、竜巻注意情報、高温注意情報、潮位情報等
3. 観測
 - ・気象：地上気象、アメダス、レーダー、高層
 - ・海洋：潮位、津波
 - ・地震：地震、震度
 - ・地球環境：日射放射、エアロゾル
4. 防災機関と連携した自然災害の防止・軽減
5. 気象・防災知識の普及、啓発



石垣島地方気象台の管轄



アメダス



潮位・津波観測



高層観測



地震・震度観測



防災機関との連携



気象・防災知識の普及、啓発

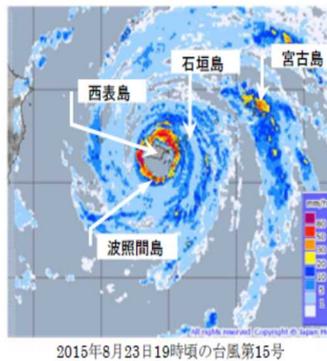


気象レーダー観測所

於茂登岳気象レーダー観測所（石垣島レーダー）は、気象庁が全国20箇所に設置している気象レーダー観測網の最西端に位置する気象レーダー観測所で、平成6年3月に宮古島地方気象台、石垣島地方気象台にそれぞれ設置していたレーダーを統合し、石垣島中央部の於茂登岳（沖縄県最高峰、標高526m）の山頂に新たに設置された。レーダーは遠隔制御のため観測所に常駐する職員はいないが、安定運用のため定期的な保守作業は不可欠である。観測所のある山頂まで車が通行できる道路はなく、職員は、ハブ等の危険生物が生息する密林の険しい山道を徒歩90分かけて観測所へ出向き保守作業を行っており、著しい労苦を伴う過酷な環境のなかレーダーの安定運用に務めている。



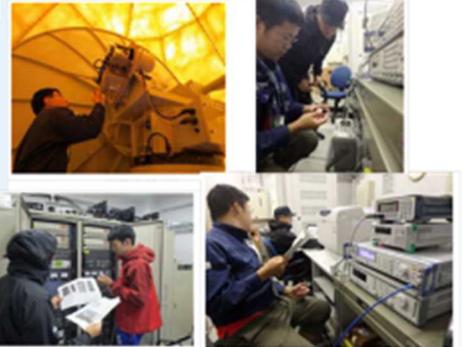
於茂登岳気象レーダー観測所



2015年8月23日19時頃の台風第15号

半径約400Km(台湾東海上から久米島付近まで：宮古島、石垣島、西表島、波照間島などの地域)における降水の分布や強さ等を立体的に観測、予報や注警報等の防災情報発表のための実況監視資料として利用されている。

保守作業



1ヶ月点検、6ヶ月点検、業者点検立会、各種修繕工事等立会などのため、月平均2~3回山頂へ登り保守作業等に当たっている。

【レーダーサイト】

(全国20か所)

気象レーダー装置



【レーダーサイト・全国20箇所】

於茂登岳の危険生物

安全対策要領を策定し、医薬品と器具(毒液吸出器等)の携帯を義務付け。

- ・ハブ
- ・ヒル
- ・ダニ
- ・ヤマギ(クヌギカレハの幼虫)
- 大型の毛虫で体長12cm程度、木の幹にいて非常にわかりやすく、毒針に刺されると激痛があり、その後数週間は痒みが発生。発熱する場合もある。
- ・その他 サソリ、トビスムカデ、サソリモドキ、スズメバチヤヤママルヤスデ等



スズメバチの駆除

ハブ(レーダー施設内)H29.11.14

災害時の対応

大雨による土砂災害で受電線路の断線や登山道が流される事態が発生。

その都度、被害調査を行い関係機関(国立公園管理、文化財保護、土地所有者、保安林管理等)との調整を経て、復旧させるなど業務維持に努めている。



H22年10月(受電線路断線等)



H25年3月(受電線路断線等)

登山道の状況

